

富雄庄田線の利便増進方針について（案）

1. 富雄庄田線の利便増進方針について

富雄庄田線の利用状況や高山地区住民アンケート調査結果等に基づき、地域公共交通利便増進実施計画の利便増進方針（案）については以下のとおりとする。

○運行経路の見直し・変更

- ・ 富雄駅～学研北生駒駅～傍示方面までの運行を学研北生駒駅～傍示方面に短縮し、富雄駅周辺の混雑区間を運行しないことで、定時性を向上。
- ・ 土日祝のみ運行している学研北生駒駅～生駒北スポーツセンター系統を平日にも運行し、獅子ヶ丘地区の生活利便向上と、くろんど池直近へのバス停の新設によるくろんど池の観光利用の促進。

○バスの増便

- ・ 帰宅時間帯の学研北生駒駅→傍示方面のバスを増便することで、利用者利便を向上。

○バスの運行時刻の変更

- ・ 帰宅時間帯の学研北生駒駅→傍示方面のバスの終発時間を延長（庄田終点のバスを傍示終点に変更）し、庄田以北の利用者利便を向上。
- ・ 学研北生駒駅での鉄道・バス乗継を考慮した運行時刻に変更し、乗継利便を向上。
- ・ 生駒北小中学校の通学時間に合わせた運行時刻に変更し、通学利便を向上。
- ・ 昼間時以降のダイヤを一定間隔で周期的に運行するパターンダイヤに変更し、利用者利便を向上。

○運賃の見直し

- ・ 傍示方面～学研北生駒駅と学研北生駒駅～富雄駅のバスにおいて、乗継割引を適用し、富雄方面への乗継利便を向上。（交通系 IC カード利用者のみが対象）

○モビリティマネジメントの実施

- ・ 公共交通マップや時刻表の配布等のモビリティマネジメントを実施し、路線の認知度向上、利用促進を図る。